

社会貢献活動

「人間尊重」の理念のもと、国内、海外において、社会貢献活動に取り組んでいます。

社会貢献活動の考え方

東京エレクトロングループでは、「人」を大切に、「人に喜ばれる価値」を提供することをコーポレートメッセージ「People. Technology. Commitment.」でも示しています。

当社グループでは、常にお客様をはじめ、私たちを取り巻くすべての人々に対して、独自の付加価値を提供し、最高の評価を得るべく、世界中にビジネスを展開しています。その基盤にあるのが創業以来の「人間尊重」の理念です。「社員をはじめ、人間が持つ創造性・無限の可能性を信じ、異なる文化や多様な価値観を尊重する」「人々の健康と安全を最優先し、地球環境の保全にも配慮する」「情熱を持って仕事に取り組む」、これらすべてが私たちの姿勢です。

また、当社グループの経営理念のなかでも企業の社会的責任や環境、健康、安全などについて周知を図っています。グループ各社・各事業所は、行政や地域社会との信頼関係を築きながら、様々な環境保全活動・社会貢献活動に取り組んでいます。

今後も企業の重要な使命として活動を拡充しながら、お客様や社会とともに歩んでいきたいと考えています。

国内における社会貢献活動

●東京エレクトロン東北(株) 東北事業所

社会貢献活動の一環として、地域で行われている「江刺甚句まつり」に1990年から参加しています。このお祭りは火防祭を起源とし、1977年からは市民総参加型の祭りとして地元住民に定着しています。江刺甚句の3,000人大パレードや年祝連の出し物、各町内の屋台、郷土芸能の披露など活気あふれる内容で、特に新入社員は必ず参加します。毎年、業務後にお祭りの練習を行い、社員は率先して地域との結びつきを強めています。



江刺甚句まつり

●東京エレクトロン(株) 府中テクノロジーセンター

府中テクノロジーセンターでは、朝日写真ニュース社の特別企画として行われている交通事故防止キャンペーンに協賛しています。本年は「子供を交通事故から守ろう」キャンペーンの一環として、隣接の府中市立住吉小学校に社名入りの交通安全標語付き朝日写真ニュース掲示板を寄贈しました。



寄贈した朝日写真ニュース掲示板

●東京エレクトロン九州(株) 佐賀事業所

日本赤十字社創立125周年、そして赤十字法制定50周年を記念して明治神宮で開催された表彰式で、佐賀事業所は、献血に多大な協力をした企業として表彰されました。



日本赤十字社から贈られた表彰状

●東京エレクトロン九州(株) 合志事業所

“わかものフォーラム”

2002年10月26日から30日にかけて開催された「国際環境都市会議くまもと2002」において、NGO等の市民団体が主催する市民環境会議が行われました。その一環である“わかものフォーラム”に、合志事業所も参加しました。これは、学生を対象に、企業の環境担当者とNGO活動家が意見交換をする場と位置付けられているものです。フォーラム会場では、参加企業や団体のテーブルが用意されており、学生は自由に企業や団体を選択し、各担当者に質問をしたり、話を聞いたりしました。参加した企業・団体は27団体あり、たくさんの学生が熱心に話を聞く姿が見られました。東京エレクトロン九州の席では、環境分野への取り組みはまだこれからだということ、環境問題解決にはいろいろな分野との協力が必要だということなどを話し合い、学生と企業が直接意見交換をする非常に有意義な時間を得ることができました。



わかものフォーラムの様様

海外における社会貢献活動

●東京エレクトロアメリカ

東京エレクトログループは、国内だけでなく海外での社会貢献活動も推進しています。特にアメリカでは積極的な活動が行われています。

①糖尿病ウォーク2002をサポート

2002年10月27日、米国カリフォルニア州マウンテンビューにあるショアラインパークで行われた小児糖尿病研究基金ウォークに、東京エレクトロアメリカ・サンタクララオフィスを代表して10名が参加しました。東京エレクトロアメリカは、このイベントに対して、資金の提供も行っています。今回のイベントによって集められた支援金は、2002年10月31日現



小児糖尿病研究基金ウォーク

在で812,000ドル以上になりました。これらの支援金は、糖尿病の治療法を発見する研究費などに役立てられています。

②「Adopt-A-Street」清掃キャンペーン

東京エレクトロアメリカ(本社:テキサス州オースチン)は、「オースチンの街をきれいにしよう(Keep Austin Beautiful)」というプログラムに参加しています。そして、そのプログラムの一環に、「Adopt-A-Street」清掃キャンペーンがあります。これは、近所の道路を、我が子のように責任をもって清掃するというもので、当社グループでは、3か月に1回、会社前のグループ通りの清掃活動を行っています。また、当社グループはこのプログラムの発足当初より参加し、主要なスポンサーを務めています。

これらの活動が認められて、2003年2月に「コミュニティ賞」を受賞しました。



「コミュニティ賞」を受賞

③テキサス・リサイクルデー

「テキサス・リサイクルデー」として知られる、テキサス州をあげての環境保全キャンペーンが、今年で10回目を迎えました。今年のスローガンは、「Re-Use(再使用)」です。従来の

リサイクルの努力に比べ、そのままの材料を繰り返して使用するという点は、堅実な廃棄物マネジメントという点で、より良い選択肢とすることができます。

非営利団体KAB(Keep Austin Beautiful)と共同で、このキャンペーンを進めている東京エレクトロアメリカでは、10周年を記念して、2002年11月15日(金)オースチン本社カフェテリア脇において、リサイクルの“こつ”など、有益な情報を展示しました。当日は、リサイクルに関するクイズなどを通して、リサイクルや環境保全に対する知識を深めました。

なお、オースチンでは、他のKAB協賛企業も、同じような情報展示会を開催し、共同で、この環境保全キャンペーンを盛り上げました。



リサイクルデーのポスター

TOPICS

日本語と日本文化教育プログラム

東京エレクトロアメリカ・オースチン本社の日本人社員の子どもたちには、現地校が休みの土曜日に、日本と同様の学習カリキュラムを集中して受けることができる「Austin Japanese School(オースチン日本語補習授業校)」という学びの場が用意されています。これは、もともと東京エレクトロアメリカの社員の子供たちを対象に、社内にあるトレーニングセンターで行っていた授業からスタートしたものでした。しばらくして、当社以外の現地日本企業で働く人々からの関心も高まり、2000年9月からオースチンのアジアアメリカ文化センターに場所を移し、当社以外の企業も対象に授業が開かれるようになり、公な学校として発足いたしました。その後、2002年4月に、文部科学省、外務省より正式に認可され現在に至っています。なお、2003年7月現在90名弱の生徒が在籍しています。

ちなみに、オースチン日本語補習授業校では、生徒とその家族のために、「運動会」や「クリスマスパーティ」を開催するなど、様々なレクリエーション活動も行い、楽しく日本語と日本文化に触れる場を提供しています。

このような日本語補習授業校は、米国をはじめ世界に約200校程あり、主に、現地の日本人会、日系企業、日本人ボランティアによって支えられています。



運動会の模様